

JAC創立100周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)~(8)は必ず記入してください。(9)~(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1) 担当支部:	山形支部	(2) 記載者氏名:	渡辺 誠	会員番号:	12190	事務局整理記入欄	山形-9
分水嶺区分	E238△806.4m峰~666m峰	(3) 山行日:	2004年	6月	2日	(4) 天候	晴

(5) 参加者氏名および会員番号

サポート要員氏名および会員番号

長岡 伸恭	10761						
渡辺 誠	12190						
		計	2名		計	名	

(6) 山行記録・位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

コース概略:	脚(すね)沢林道終点より脚沢を遡行し、左又沢から715m峰~分水嶺(県境尾根750m)~△806.4m峰~県境尾根750m~666m峰												
アプローチ:	高畠町二井宿上の台から脚(すね)沢林道の崩壊場所まで車使用												
地点コード	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)~(11)の特記 事項等との関係
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点	脚沢林道	二井宿	140	16	26.4	38	2	43.0	419		8:45		①
分水嶺到達点	県境尾根(750m)	"	140	16	44.2	38	3	14.4	750	11:05	11:15	B-2	②
E238	△806.4m	"	140	16	37.4	38	3	22.3	807	11:45	11:50	B-3	③
	" 三角点	"	140	16	37.3	38	3	22.3	807	11:50	12:25	B-3	④(昼食)
	県境尾根(750m)	"	140	16	44.2	38	3	14.4	750	12:40	12:40	B-3	
分水嶺離別点	県境尾根(666m)	"	140	22	58.0	38	3	2.1	667	13:45	14:00	B-2	⑤
歩行終了点	脚沢林道	"	140	16	26.4	38	2	43.0	419	14:51			
												総歩行時間(休憩時間を除く):	5時間01分

(7) 三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点コードを 記入してください	点名	等級	方位	保存 状況	特記事項
E238△806.4m	千蒲山	2	南南東	不良	④方位が南南東に28°ずれている。また、柱石が土砂で埋まり、地上に8cmしか出ていない。 * 4月1日に△806.4m峰を踏査(報告済)しているが、積雪のため三角点を確認できなかった。再度踏査を実施したものである。

(8) 人工施設の現況および地形図との相違点


(9) 水および植生に関連した特記事項

③△806.4m峰から666m峰までの県境尾根(分水嶺)は、マツやミズナラの高木その他、雑木が密生していた。また、樹木の葉が茂り、視界がきかなかつたため、踏査は困難を極めた。

(10) その他の特記事項

①脚沢林道終点の手前約400mのところ、土砂崩れのため車の通行不可。ここより歩行開始となる。
②脚沢林道終点より脚沢の遡行となる。約300m進み、左側の沢(左又沢)に入り、715m峰を目指して進む(かなり厳しい沢登りになる)。
⑤県境尾根(666m)の近くの峠(エビナ峠)は、昭和30年頃まで地元の人々が七ヶ宿町千蒲と行き来していたと言われており、峠には往時の踏み跡が微かに残っていた。現在では通る人は皆無とのこと(わずかに山菜取りが途中まで行く程度……二井宿公民館の話)。 * エビナ峠……土地の古老の話では、エビナ峠と言っていたとのことである。

(11) 写真の添付:(有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明: 左又沢の遡行(源頭付近)
△806.4mの三角点

山行報告書(続き)  
表面(1ページ目)に書ききれなかった事項を記入してください。



左又沢の遡行(源頭付近)



△806.4mの三角点